

# 世田谷・九条の会

世田谷・九条の会  
ニュース No.60

2021年2月28日発行  
(題字 西山簡石)

●事務局 〒154-0017 世田谷区世田谷 1-11-16 世田谷民商気付  
Tel:03-6413-9547 Fax:03-6413-9548 Mail:setagaya-9jou@kzh.biglobe.ne.jp  
●ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~setgagaya-9jou>  
●郵便振替口座 記番号 00110-5-260741 世田谷・九条の会

## 「デジタル・ファシズム」と菅改憲

金子 勝

2020年9月16日に発足した菅義偉内閣は、21世紀の「ファシズム」（資本主義のための全体主義的独裁体制）である『デジタル・ファシズム』を確立しようとしている。

菅内閣総理大臣は、2020年9月26日の「所信表明演説」で、「私の目指す社会像は、自助、共助、公助、そして絆です。自分でできることは、まず、自分でやってみる。そして、家族、地域で互いに助け合う、その上で、政府がセーフティネットでお守りする。そうした国民から信頼される政府を目指します。そのため」、「規制改革を全力で進めます」。「今回の感染症では、行政サービスや民間におけるデジタル化の遅れ、サプライチェーンの偏りなど、様々な課題が浮き彫りになりました。デジタル化をはじめ大胆な規制改革を実現（するために）」、「司令塔となるデジタル庁を設立いたします」と語った。

「自助・共助・公助」の順次思考は、経済的・政治的・肉体的・精神的に優位に立つ強者だけが幸福になればいいという「優生主義」の思考である。この思考は、ドイツのヒトラー・ナチス政権がユダヤ人虐殺（推定600万人）を行った思考と同類の「ファシズム」の思考であり、従って、弱肉強食主義、弱者放置・強者優遇の経済であるグローバル型新自由主義を基礎とする21世紀の「ファシズム」の思考である。

菅総理は、反立憲主義的方法（憲法クーデター）で、「優生主義」社会を確立するために、「デジタル庁」を設立し、21世紀の「ファシズム」の特色であるAIやITの技術を駆使して、マイナンバーで個人情報を一元的に集約し、国民を監視し・統治するデジタル独裁体制を構築しようとしている。

菅内閣と自民党の改憲策動は、「安倍改憲」に「デジタル・ファシズム」を正当化するための改憲を加えた新たな改憲策動に転化する。そして、この新たな改憲策動を成就させるため、

- ① 改憲手続法（別名・国民投票法）改定案を成立させること、② 日本維新の会と国民民主党を改憲陣営に取り込むことを狙っている。（立正大学名誉教授）

## コロナ禍で学んだもの

福島 明夫

このところ久しぶりに顔を合わせた方々から必ずと言ってよいほど「大変でしょうね。」と声を掛けられる。これには「はい。」としか答えようがない。ご心配をおかけしていることは恐縮なのだが、もう一つどう大変かを説明するには時間が足りない。

昨年二月末のイベント自粛要請以来、音楽、演劇等の世界では、大規模なものは公演中止、小、中規模のものでは、やはり上演中止としたものと、消毒、検温などの感染防止措置に加えて、座席使用制限を行って上演するものに分かれた。ただ、いずれにしても興行収入の大幅減、つまりは劇団やプロダクションの赤字が結果として突き付けられた。それがほぼ一年続いたことになる。それに対しこの間の運動の成果もあって、第二次補正、第三次補正予算での文化関係予算の確保となったが、エンタメ業界全体で見れば極一部を埋めるだけのものだ。さらに言えばそこで雇用されるはずだった非正規の契約社員やアルバイトの人件費も支払えないのが大半だ。ただ去年はそれでも個人事業主に対する持続化給付金などもありフリーランスは多少救われたのだが、それも一回限り。周囲から聞こえてくるのは、「楽器を売った」とか「転業した」という声。そこまでいかないにしても、もともと飲食業でのバイトの多かった業種なので、そこでも苦労がある。それはそれでもお金の話。



演劇にしても音楽にしても、基本的には人気商売であり、人々に喜んでもらうことが最大の喜びと言っていい。実はこのコロナで一番傷んだのは精神的な側面なのかも知れない。この話が結構伝わりにくい。一つは演劇公演を打つこと自体が非難の対象になる不安だ。この時期に人を集めること、密な環境に置くことなど感染拡大が言われている時に不謹慎ではないかというもの。その中には演劇とか芸術とか偉そうに言うけれど、好き者のやる遊びで一般人には不要のものだという意見も含まれる。自分たちが人生をかけている仕事を全否定されていると感じた人も多い。もう一つは上演判断に悩んでいることで、現在進行中の座組みや支援者からの不信感が生れることだ。劇場が閉鎖されたわけでも、中止命令が出ているわけでもないのに中止を検討する、その姿勢が信じられないというものだ。やるも地獄、やらずも地獄と言いつたりした。

ただ昨年から一年間これらの問題に向き合う中で、社会の中で文化や芸術の社会的位置づけを高めようという声広がったことは大きな財産になった。

このコロナウイルスは、日本の医療や保健体制の脆弱さ、基礎科学の軽視などに加え、3.11と同様、誤った政策を撤回、反省出来ない体質も含め、私たちが向き合っていくべき課題を教えてください。密は避けるにしても、その議論の場はもっと設けられるべきだろう。

(秋田雨雀・土方与志記念青年劇場代表 演劇製作)

## コロナ禍による困窮者支援と憲法

田川 英信

新型コロナの大流行により、失業や収入減による貧困が拡大しています。

反貧困ネットワークの呼びかけで昨年3月に結成された「新型コロナ災害緊急アクション」では、全国から寄せられた1億円ものカンパをもとに基金をつくりました。派遣村のように三密になることはできないため、その基金を活用し、SOSメールに対応して現地に駆け付けて個別支援をしています。具体的には、当面の生活費・宿泊費等の給付をし、公的な支援につなげる、特に生活保護の利用で「水際作戦」をさせないための申請同行、居宅の確保の支援などです。

世田谷区役所で生活保護の実務に携わっていた私は、「緊急アクション」の中心メンバーとして、主にSOSメールに対する返信を担当し、時には実際に現地に駆け付けて相談に乗り、助言するという活動を続けてきました。

メールでのSOSということもあり、助けを求める方の多くは20代~40代。リーマンショックの時と異なり、女性からのSOSも多くあります。特徴的なのは、行政に対して相談したことが無い、相談しようとも思っていない人々が多いこと。そして、生活保護だけは嫌だと忌避する人が多いことです。

この年末年始も、歌舞伎町の大久保公園、東池袋中央公園、四谷の聖イグナチオ教会をお借りしての相談会に休みなく従事しました。所持金が6円しかない住居喪失者の32歳の男性に、生活保護の利用でいのちをつなごうと勧めましたが、



生活保護は考えられないと拒否。自分でなんとかかすとして、東京都が年末年始用に借り上げたホテルの利用だけにとどまりました。（前頁の写真は、大晦日に行われた東池袋中央公園での相談会の様子。前列左から3人目が宇都宮健児さん、その右が雨宮処凛さん、うしろ左が私で、右が山本太郎さん）

お隣の韓国では、このような貧困をなくす責任は国家にあるとして、積極的な施策を展開し、住居喪失者に対する住宅の提供を着実に実施しています。それに比べ、日本はどうでしょうか。愚かな政府は、「自助、共助、公助」と述べて、憲法 25 条による国家の生存権保障責任を放棄しています。憲法 9 条の改憲問題が重要課題ですが、それだけでなく既に 25 条は「壊憲」されてしまっているのです。

政府だけでなく、生活保護の適用などで違法・不適切な対応を続けている自治体もあります。このようなセーフティーネットの脆弱性を変えることができなかつたことを本当に悔いています。

お勧めの書があります。稲葉剛・小林美穂子・和田静香編『コロナ禍の東京を駆ける』（岩波書店 1900 円＋税）。福祉事務所とのやり取りを日記風に記録したもの。執筆はしていませんが、私も登場しています（笑）  
（奥沢 在住）

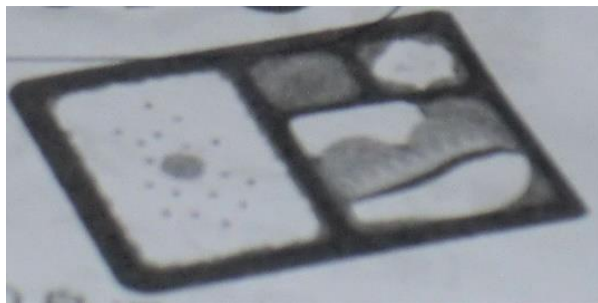
## あったかごはんプロジェクト ～だれひとり取り残さない～

一宮 蓉子

昨年はコロナに振り回された一年でした。私たちの身近でも、失業や収入激減で生活の危機に陥った方がおられました。こうした状況を「見て見ぬふり」「他人事」と放っておくのは心が痛み、何かできないかと考えたのが、私たちにもできることとしての「炊き出し」でした。

とは言え、初めての挑戦ゆえ、何をどうしたらいいのか全くわからないなかで、準備期間 1 ヶ月弱という無謀な計画に本当に多くの方々が協力してくださり、無事に実行することができました。

必要な方々にお知らせするのはどうすればいい？→社会福祉協議会のコロナによる生活資金や住宅関連の相談窓口「ぶらっとホーム世田谷」や、各団体で行う「フードパントリー」の場でチラシを配っていただくことに。



炊き出しの資金はどうする？→クラウドファンディングに挑戦。目標額 10 万円で、1 週間で 9 万 4000 円の寄付あり。食材の提供を呼びかけると、身近な方々からお米や野菜、缶詰、レトルト食品等の提供があつという間に集まり感激。農家さんから大きな大根 10 本、小松菜、カブなど、どっさりいただきました。

お手伝いしてくださる方は、ボランティア協会や社会福祉協議会が公報して下さり、毎日 6~7 名の方々が駆けつけてくださいました。こうして綱渡りのような実施でしたが、12 月 29 日~1 月 3 日の 6 日間に総数 100 食のお弁当を提供できたのは、本当に夢のようなことでした。

1 月 4 日の夕方、毎日お弁当を取りに来てくださった男性から「毎日おいしい食事をいただいて、本当にありがとうございます。皆様の温かい心にふれ、お陰で命をつなぐことが出来ました。事故やいろいろな事情で仕事ができない状況でしたが、今日から仕事が始まりました。いつまた仕事がなくなるか不安ですが、このたびのご恩は忘れません。」とお礼の電話が入り、やってよかったとの思いが強まりました。

クラウドファンディングの寄付の残金があるので、無くなるまでもうしばらくお弁当の提供を続けます。必要な方がおられましたらご紹介ください。

(NPO 法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ 弦巻在住)

## スウェーデンからの現地報告 (1)

姉齒 暁

### スウェーデンにおけるコロナの現状とワクチン接種の進行状況

スウェーデンにおける現在までの COVID-19 の感染者は約 56 万人、全人口が東京都より 200 万人ほど少ない 1,022 万人ですから、全人口の 5%あまりが感染していることとなります。1 月 27 日時点で、累計の死者数は 11,247 人、ほとんどは 80 歳以上の高齢者です。検査数は週 26 万件、1 日あたりで 34,000 件となっています。鼻水が出た程度のコロナかどうかわからない軽い症状でも直ちに検査を受けることが推奨されています。

クリスマスが明けた直後の 12 月 27 日より、当初の予定通り、最も感染死が多かった地域のケアホームや在宅で介護を受けている高齢者、医療従事者や介護福祉士、介護を受ける人と世帯を共にする家族に対するワクチン接種が開始されました。1 月 28 日時点で、少なく見積もって対象者のほぼ全員分、2 回目の接種 14,248 回分を含む 230,517 回分の接種が終了しています。今後増える接種会場の一つには、ノーベル賞の晩餐会場となるストックホルム市庁舎のブルールーム（青い部屋）も含まれていて、ちょっとした評判になっています。

2月からは70歳以上のすべての成人、障害者支援を受けている18歳以上の人たちやその介護ケアを行なっているスタッフへの接種が開始されます。すべての人々が接種を終えるのは予定では6月末です。

### 検査体制はどうなっているのか

スウェーデンでは、コロナに限らず、すべての医療に関する相談事は、電話かインターネットで、1177という番号に連絡することになっています。1177は24時間体制の医療アドバイス機関です。各県ごとに訓練を受けた看護師が常駐して相談を受けつけています。純粹に本人の希望で検査が受けられることになっており、無料です。陽性であったにもかかわらず外出や勤務を行なうと、他の人に危険をもたらす行為とされ、最長で2年間の懲役または罰金に処せられる可能性があります。

検査結果は1日から3日でSNSやメールで届きますが、具合が悪くなった時は、今度は緊急電話番号112という別な番号に連絡することで直ちに救急車が駆けつけます。（この番号は救急、警察、山岳救助隊だけではなく、当直の司祭を呼ぶときにも使われます。）

当初は、症状を訴えても医師が検査を勧めず重症化するなどの問題も発生したと聞いていますが、今は、とにかく検査を受けることが大切だと政府は繰り返し訴えています。

### スウェーデンのコロナ対策の基本

スウェーデンのコロナ対策で春から一貫しているのは「手指の洗浄、消毒、社会的距離を保つこと、在宅勤務を基本とし、70代以上の市民には自主隔離を求める」といった「人との接触を避ける」ことを基本とするものです。一方、多くの国々で主要な対策の柱にしているマスクの効果については感染防止への効果が科学的に立証されていないとしてマスク着用を推奨してきませんでした。国内でも賛否両論分かれるマスク着用問題ですが、先日、公衆衛生局は「社会的距離が取れない公共交通機関を利用するときにはマスクを着用すること」を義務付けました。ただし、それも「2004年以前に生まれた人だけ、しかも、ラッシュ時の朝7時から9時まで、夕方の4時から6時まで、そして座席指定ができない場合」という細かい限定付きです。それでも、最近は店の中だけではなく外でもマスクを着用する人たちを目にすることが多くなりました。第一波の時は、マスクをつけていることで差別にあった外国人もいたと聞いていますが、今はそのようなことはありません。先日は、公



衆衛生局長自身がラッシュ時の交通機関でマスクを着用しなかったことが咎められ必死に謝罪を繰り返していました。

公衆衛生局は、そのほかにも雇用主が労働者の在宅勤務に最大限の努力を行うことを求め、店舗を含むすべての施設が感染回避の基準を満たしているかチェックされます。さらに「一度に店内に何人まで収容できるか」を明示することや営業そのものの短縮などを義務付けています。ここでは、日常的に距離を置くこと、混雑を避けること、移動を少なくすることが優先されています。最も、人口密度が日本の19分の1の国ですから、よほど大都市の中心地にでも行かなければ社会的距離を取るのはたやすいのですが、移民労働者の生活・労働条件ではそれも難しいのが現状です。実際、後述するように、そのことがスウェーデンの高齢者の命を奪うことにもつながりました。

## 情報公開と連日の記者会見、そして検証機関が実効性や課題を忖度なしに政府に突きつける安心感

コロナ対策は、担当部局である公衆衛生局に勤務する医師であり国家疫学官であり、感染症およびパンデミックの専門家であるアンデシュ・テグネル博士を筆頭とする専門家によって決定されています。コロナ関係の情報は毎日更新され、すべて公開されます。事あるごとにルーヴェン首相自身が国民に訴えかけ、公衆衛生局はテグネル博士を中心に、そ



の時々主要課題に関する省庁の大臣クラスと一緒にマイクの前に立ち、毎日定時に会見を始め、かなりの時間をかけて記者からの質問に答えます（上写真 後にリモート会見に変更）。

こうしたこのテグネル氏に対する信頼もあるでしょうが、スウェーデンの人たちは、何よりも「政治から自立して科学的知見にのみ基づいて対策が提起されること」に信頼を置いています。こうした公的機関でありながら政府の干渉から自立して存在できる根拠は憲法の中にあります。スウェーデン憲法第12章「行政」の「行政の自律性」について定める第2条には「いかなる官庁も、議会又はコミューンの議決機関も、特定の場合において、行政機関が個人又はコミューンに対する官庁の権限行使又は法律の適用に関わる事案において、どのように決定すべきかを定めてはならない。」とあり、今回の問題で言えば公衆衛生局の決定にどこも干渉してはならないわけです。コロナ対策の時に対策機関が政府から自立しているのはとても大切な

ことです。移動の自由や民間経営にまで踏み込む規制を行えば経済には当然マイナスが生じ、景気対策で点数稼ぎをしたい政府与党と対立するのは必然だからです。（以下次号に続く）

（駒澤大学教授 ルンド大学社会学部にて 2020 年 9 月より在外研究中）

## 言葉に力を持たせない・言葉に力を持たせる

しもこうべ  
下河辺 美知子

安倍政権から菅政権に移行する中で、一貫して行われてきたことの一つ、それは、言葉を使った巧妙な操作である。あるときは、言葉の力を徹底的に削ぐことで、対話の場を真空なものとする。その一方で、言葉の力を濫用することで自分たちの行為の正当性を言いたてる。前者は安倍政権時代の菅官房長官が多用した手段だ。「あなたに答える必要はありません」と言って立ち去るとき、彼は、権力を握った側が言葉の機能を停止させる場を作り上げていた。

さて、就任したばかりの菅総理大臣が真っ先に行ったのが、日本学術会議の会員候補 6 名の任命拒否であった。菅総理が述べた理由は、時間軸に置かれると次々に理論が破綻していった。そんな中、彼の口から出た一つの言葉に注目したい。

「人事にかかわることであるからお答えできない」

得意げに放たれたこの言葉を聞いたとき、これまでもまして彼の言葉が危険であると思いついた。このセリフには、言葉に力を持たせない・言葉に力を持たせるという二重の暴力が内包されているからだ。まず「お答えできない」という返答は、先の「答える必要はない」の延長線上にあるもので、問いかけの言葉の力をはぎ、その意味を受け取ることを拒絶するものだ。しかし、この答弁の暴力はそれだけではない。

「人事にかかわることであるから」という理由を聞いたとき、国民の中には「仕方ないか」と納得した人もいたであろう。それは、今の日本社会が、「人事」という言葉を振りかざせば権力側が情報を開示する必要性を免除されるという前提で動いているからだ。

本来「人事」の意味は何なのか？ 「官公庁、学校、会社などで、人の採用、転任、退職や身分、職務、能力などに関する事柄」（日本国語大辞典）つまり、そこに就職し、給料をもらい、昇進昇給し、そして退職していく。この一連のプロセスをつかさどる仕組みが人事である。





学術会議会員候補の大学教授たちは、各々本務校というものを持っている。そこに採用されるときは厳しい選考過程があったであろうし、教授会の中で昇進し、学則のもと昇給し、理事会の承認のもとに退職後名誉教授の称号も与えられるであろう。彼らは、勤務する大学の「人事」規定のもとで教授職をつとめている。しかし、学者にはそれ以外の活動の場があり、日本学術会議もその一つである。研究のために学会に所属するといった給料の発生しない活動と同じで、学術会議委員に推挙されるのは同僚からの推薦によるわけで、雇い主がつかさどる「人事」の範疇外のことだ。(彼らが高額なお金をもらっているという情報はその後否定されたはず)。

雇用関係の中でのみ生活する大方の日本人は、「人事」という言葉を使われるとそれ以上理由を迫及できずに頭をうなだれてしまう。菅総理はここを狙ったのだ。言葉の力を濫用する暴力がこめられた「ジンジ」という音声が響く日本社会は、ますます風通しの悪いものになってきたとあらためて感じた出来事であった。(成蹊大学名誉教授 代沢一丁目在住)

## どうなる？東京五輪・パラリンピックと女性差別発言

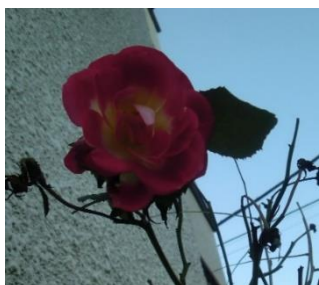
北沢 杏子

「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる。ラグビー協会は(女性が5人いて)今までの倍、時間がかかる」「女性は競争意識が強く、誰か1人が手を挙げると、自分も言わなきゃならないと、みんなが発言する」「女性を増やしていく場合は、発言の時間を、規制をしておかないと、なかなか終わらないから困る」—これが、東京五輪・パラリンピック大会組織委員会会長 森喜朗氏(83)の、2月3日の女性蔑視発言だ。

この発言をめぐり、日本国内はもとより、国際オリンピック委員会(IOC)他からの厳しい批判を受け、それまで辞任を否定していた森会長は2月12日、理事や評議員らを集めた合同懇談会の冒頭で辞意を表明した。

だが、ここまでの過程でIOCの甘さも露呈した。2月3日の女性蔑視発言の翌4日、森会長の謝罪会見を受け、IOCは「この問題は終わったと考えている」と幕引きを後押ししたのだ。2月5日と6日の週末を過ぎれば、世間の関心も薄れるとでも思ったのか？とんでもない！五輪憲章が掲げる「ジェンダー平等」の原則を、大会組織委のトップが軽んじたことで、批判は世界中に広がっていった。森氏はあわてて元日本サッカー協会会長で、組織委の評議員を務める川淵三郎氏(84)と面接し、会長就任を要請したという。

話は変わるが、2020年2月27日、国連のグテーレス事務総長はニューヨークで演説し、ジェンダー平等の重要性を強調。「不平等と差別は至る所にある！」と指摘した。例として、暴力、レイプ、DV、



ハラスメント、脅迫、政府・企業・スポーツ業界の幹部職の女性排除他を挙げた。さらに「家父長制やジェンダー不平等が、男らしさの固定観念を作っている」「ジェンダー平等社会の構築こそ、男性の人格形成に不可欠だ」と強調した。

今回の森喜朗氏の女性蔑視発言こそ、日本のジェンダー不平等がもたらした結果と言えよう。ちなみに日本の男女格差のランキングは、昨 2020 年度、153 カ国中 121 位（世界経済フォーラム公表）。とりわけ政治分野では日本は 144 位。安倍晋三前首相のモリ・カケ、桜を見る会の実相もうやむやな上、菅内閣の次々に起る不祥事も「ジェンダー不平等日本が生み出した人格の故だ」とグテーレス国連事務総長は言うに違いない！

（「性を語る会」代表。アーニ出版共同代表。児童虐待対応専門委員。元・国連人口基金・国際協力事業団 IEC 事業専門家派遣員。現・医大医学部看護学科および看護専門学校学生への講座担当。）

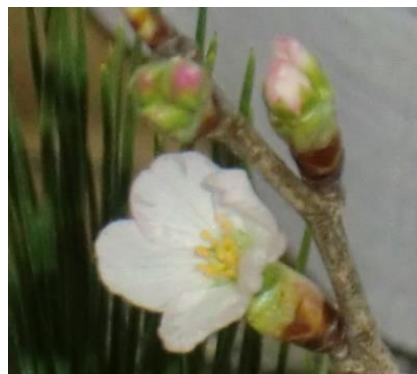
## 俳句と私

山形 三郎

60歳の定年を迎える頃、大阪の中小企業に拾われて、定年の翌日から働き始めた。大阪で6年働き、もうこれから、5年も働く事はない、と思っていた頃、何か、楽しむ事を新しく始めたいと思い、それまでも、いたずら程度でやっていた「俳句」を選んだ。物の本に拠れば、俳句には、「結社」に入って勉強をする道がある、とのことで、「天為」という有馬朗人先生が主宰をされている「結社」に入会した。2009年4月のこと。

「天為」を選んだ理由は、特に有った訳ではないが幾つかの「結社」の見本誌を取り寄せて、決めたのである。

2012年9月、23歳から始めた労働を、69歳で、辞めた。働く事は、自分にとっては楽しく、又、成果を上げる喜びもあり、人間形成に、重要な役割を果たしたと思う。長く、営業の仕事に関わったので、レポートや報告を書くことには長けていたが、「俳句」即ち、韻文は難しい。NHKのディレクターになった友にも、「君は韻文には向いていない」と断言された。「歌心」が、無いのである。無いものは、自分で作るしかない。そこで、日本の古典、和歌、俳句、関連する文書を勉強することを始めたのである。毎日、時間が有れば、1、2時間、ノートを採った。亡くなった両親が見れば、驚くに違いない。



先ずは、大岡信の「折々のうた」である。

勉強も進み、ある時、「高浜虚子」に関する文献を読んでいたら、1936年（昭和11年）欧州へ、船で向かう途上の「洋上句会」の事が出ていたのである。丁度、あの二・二六事件の数日後、虚子が乗った日本郵船の箱根丸は香港に停泊していた。虚子は、同乗した仲間と船員を含めて、10名程度で「句会」を楽しんでいた。横光利一も、参加していたが、その参加者の中に、「二等機関士 K」なる名前が有り、本当に驚いた。

それは、大学の仲間であった K 君の父上である。何故、直ぐに判ったかと云うと、K 君は学校を出て、大手印刷メーカーに入り、全印総連の旗を守り、戦った静かな闘士であったが、病のため、残念な事に早く亡くなってしまった。彼を悼み、兄上や職場の仲間が「遺稿集」を発刊したが、その中に、船乗りであった父上の事、俳句がお好きであった事を、K 君が書き残していたからである。

父上は、「月夜の晩に甲板に出て、十数名の部下と一緒に月明かりの下、俳句の会を開いた」（遺稿集より）という。熱心なクリスチャンで、船が横浜へ着くと、必ず教会を訪ねていた、と K 君の結婚式の時に、牧師が言っていたのを覚えている。この父上も太平洋戦争の末期、「阿波丸事件」で、戦没された。



如何に「歌心」の無い者でも、人生のはかなさ、せつなさ、厳しさを感じる事が出来る。

その後、俳句の勉強も進んで、遂には、万葉集全巻、季語全集をノートに採るに至った。

K 君の父上の句

「魚ひさぐジャンク舟あり桃の花」

「旧友の墓をさがして返り花」（三郎）

（ニュース「俳句欄」担当 新宿区在住）

## 【呼びかけ人の皆さまからのメッセージ】

本会創立から間もなく16年になります。呼びかけ人（発足当時35人）の皆さまにお願いしてメッセージを頂きました。順次紹介させていただきます。北沢杏子さんのメッセージは、9ページに記事として掲載させていただきました。

### ○ 池辺晋一郎さん（作曲家）

世田谷に限らず、九条の会にはあちこちで関わりつづけています。「世界平和アピール七人委員会」の活動もしています。

核兵器禁止条約の1月22日の発効を目前に控え、各地の九条の会の存在意義が、より大きくなる時だと考えています。

## ○ 湯川れい子さん（音楽評論・作詞家）

コロナ禍の令和3年です。

この感染症のパンデミックも、地球温暖化が運んで来たことのひとつかも知れません。

もう逆戻りは出来ない温暖化で、どんどん失われていく物は多く、これからはエネルギーだけでなく、食糧も水も奪い合う時代に入って行くのかも知れません。

でもそんなときに助け合うのではなく、分け合うのではなく武力で対決したら、きっと誰も生き残ることは出来ない終末が訪れることでしょう。

そんな時代だからこそ、夢物語ではなく、核の廃絶と憲法九条を現実のものとして死守。外交と人間力を尽くすことだと思います。

## ○ 橋本博さん（元大学教員・世田谷原水協代表理事）

世田谷・九条の会は2005年3月に発足。改憲発議を許さない世論と運動をつくってきました。核兵器禁止条約が1月22日に発効。紛争は話し合いで解決する、核兵器はなくすという当たり前の世界は、声を上げつづければ実現できるでしょう。

## ○ 金子勝さん（立正大学名誉教授）

思うに、運動をする人も、研究をする人も、自己の生きている歴史的時代はどんな時代なのかを考えて活動しないと、時代錯誤に陥り、結局は、運動や研究の失敗を招くことになる。

私達の生きている21世紀という時代の特色を考えると、この時代は、世界各国における民衆の「反戦平和・基本的人権尊重・民主主義尊重・地球環境保護」の思想と運動の高揚により、

(I) ① すべての人間と動植物と地球は、平和のもとで「幸福」になる権利（平和的幸福追求権）がある、② すべての紛争は「話し合い（対話）」で解決を、が普遍となる時代であり、

(II) 戦争（自衛戦争・侵略戦争・制裁戦争）のすべてと、戦争につながるすべての自衛目的・侵略目的・制裁目的の武力による威嚇及び武力の行使が違法となる時代であり、

(III) 戦争を仕掛けた国が結局は敗北するという時代であり（アメリカの2001年10月7日開始の「アフガニスタン戦争」と2003年3月20日開始の「イラク戦争」がその標識）、

(IV) 戦力（軍事組織と武器）を持たない国を攻撃する国は、国際社会から糾弾を受けて苦境に陥ることになると考えられるから、戦力を持たない国を侵害することはできなくなったという時代である（1983年11月17日に「非武装・永世中立国」を宣言〔モンヘ大統領〕したコスタリカ共和国がその標識）。

かくして、21世紀は、日本国憲法「第九条」が表明している、国民と国家と自治体が、① 如何なる戦争・武力（兵士と武器）による威嚇及び武力の行使も永久に行わず、② 如何なる戦力



も持たず、また、③ 如何なる交戦権＝戦争権も認めず、④ すべての紛争を「話し合い」で解決するという「非戦・非武装・対話・永久平和主義」が人類の「導きの星」となる時代である。

しかし、日本国憲法「第九条」の現実、「日米安全保障条約」と自衛隊を動かす日米権力機構―「日米安全保障条約」体制によって、その「全面的開花」が抑圧されているため、「第九条」は、自己を愛する国民の支持エネルギーを糧にして、「全面的開花」の時を待っている。

私は、21世紀という歴史的時代の力を土台として、「第九条」の理想を愛する日本と世界の人々と力を合わせて、「第九条」および日本国憲法全体の「全面的開花」を実現することを切望し、そのために努力することを自らに課している。

## 1月～2月の区内の宣伝行動など

例年になく寒い日の多かった2021年1月、コロナウイルスの感染拡大で二回目の緊急事態宣言が発出される中、世田谷区内では、戦争させない！九条こわすな！世田谷連絡会の呼びかけに応じて、1月14日～17日の間、区内各所で、改憲発議反対、コロナ対策の充実、消費税減税、核兵器禁止条約への参加を求める一斉宣伝行動が展開されました。

1月14日の昼には、市民連合めぐろ・せたがやの皆さんが中心となって、下北沢駅前広場でスタンディングによる宣伝が行われました。幸い暖かい日で、自転車3台にくくりつけられた横断幕、各人が用意した様々なプラカード、世田谷区のコロナ対策を要約したチラシに見入る人は多く、全くのサイレントスタンディングでしたが、好意的に受け止められたように思いました。参加者は15人でした。

1月15日の夕刻には、明大前駅前で、生かそう憲法！今こそ9条を！世田谷の会がマイクとプラカードでの宣伝に取り組みました。参加者は14人でした。テーブルを出して、改憲発議反対の緊急署名と、核兵器禁止条約に日本政府も参加し、批准するよう求める2つの署名用紙と消毒液を置いたところ、寄ってこられた4名の方から署名をいただきました（右写真）。



1月16日は、千歳船橋駅でちとふなPeaceパレードの皆さんが6人でスタンディング。右写真の“スガ仮面”に思わず目をとめる人が多かったそうです。

同日、世田谷革新懇の皆さんが6人で三軒茶屋宣伝に取り組みました。新調したばかりの横断幕を貼り出して、菅政権にかわる新しい政治の実現を訴えました。

「北朝鮮どうなんだ」と食ってかかる人がいましたが、冷静に対応したとのこと。一度通り過ぎた女性2人が戻ってきて署名してくれました。



烏山地域では、烏山地域九条の会、年金者組合、新婦人、共産党後援会事務所などが、15、



16日と区民センター前でマイク宣伝に取り組みました。参加者はそれぞれ14人、11人でした。17日には17人が参加して、パレードを決行しました（左写真）。

このほか、奥沢、池尻、経堂、希望ヶ丘団地、喜多見団地、用賀でも地域の皆さんの参加で宣伝行動が取り込まれました。春を思わせる暖かな日と、曇りがちで最高気温が10℃を下回る日とが日替わりでしたが、今回の取り組みに参加頂いた皆さん、本当にご苦労さまでした。これほど困難な中でも、感染に注意しながら、菅政治を批判する声が出され続けていることを、街の皆さんには感じ取っていただけたと思います。

一週間後の1月23日には、雨の中、成城・祖師谷九条の会が、成城学園駅前前で3人が参加して1時間のサイレントスタンディングとちらし配布に取り組みました。

同日、ヒバクシャ国際署名世田谷連絡会は、1月22日の核兵器禁止条約発効を記念して、三軒茶屋キャロットタワーのセミナールームで、元世田谷同友会会長の三宅信雄氏を講師に招き、「日本政府に核兵器禁止条約の参加を求める学習会」を開催しました。参加者は19人でした。学習会終了後、三軒茶屋駅地下通路で、22日の禁止条約の発効を伝え、被爆国政府こそ廃絶の先頭に立つべきだと訴えました。参加者15人で17人分の署名が寄せられ

ました。これに前後してヒバクシャ国際署名世田谷連絡会では、署名用紙を各戸配布して郵便で返送してもらう活動にも取り組み、1200筆を超える署名とカンパが寄せられています。

また2月7日の市民連合 めぐる・せたがやの自由が丘駅前での街頭宣伝には、目黒・世田谷両区から約60名が参加したと報告いただいています。

\* 2月に予定していた交流会を開くことができませんでした。そこで、地域九条の会に活動報告をお願いしました。九条の会まつざわから届いた報告を掲載します。

## 《まつざわ九条の会活動報告》

新型コロナ禍下での2020年後半の取り組みを報告いたします。

11月14日金子勝氏による「菅義偉内閣の正体と『安倍改憲』の暴走化」をテーマに講演学習会。内容は極めて時宜に叶ったもので、「九条の会まつざわ通信・Hot News」で4回にわたりメールアドレス登録会員に配信してきました。

このHot Newsは、年5～6号発行してきた印刷物「会報まつざわ9」にかわり、苦肉の策として8月より取り組み始めたメールアドレス会員・会友への配信活動です。スマホ一画面で収まり、毎回一つのトピックで、読み易さをコンセプトに始めたものです。（注：世田谷・九条の会ホームページのリンク集に掲載されています）。

「会報」配布活動や区広報板を活用した市民への宣伝活動は、ほとんど活動停止の一年でしたが、活動の火を消さないためにも、世話人会議はほぼ3ヶ月に2度のペースで開催してきました。

3月27日に脚本・演出・俳優でもあるシライケイタ氏を迎えて「コロナ禍における文化芸術のあり方」をテーマに講演と意見交流会を企画しています。（九条の会まつざわ 春木）

## 【読者からのおたより】

- \* 会報をお送り戴き、ありがとうございます。（大原・Hさんより）
- \* 厳しい世情の中、ご苦勞様でございます。私事、高齢でございますが、都合により遠方に転居することになりました。（北沢・Oさんより）
- \* 頑張っている皆さんに感謝いたします。（喜多見・Hさんより）
- \* 高齢のため、活動には参加できませんが、皆様方のご活躍を祈念いたします。（成城・Uさんより）

\* 会報で日本学術会議のことが小澤氏、下村氏と、世田谷・九条の会 15 周年講演のつどいで丸山さんのお話にありました、丸山さんは、元若葉町に住んでいたころより存じあげています。

(府中市・O さんより)

## 【新年の句】

山形 三郎

新年は、年の初めである。新歳・新春・新玉の年などとも云う。旧暦では、新年と春が殆ど一緒であったので、「春」と云えば、新春のことであった。

「新玉の」は、枕詞（特定の語の上にかかって修飾または口調を整えることば）で、年・春・月・日にかかる。「新年の」の意にも使う。数え歳で、年齢を数えていた頃は、新年で加齢したので、ある種の感慨があった。又、厳冬にあたり、寒さは最も厳しい候である。

{主な季語} 正月 去年今年（こぞことし） 元日 松の内 女正月 初日 淑気 初富士  
雑煮 年賀 歳玉 賀状 食積（おせちのこと） 初夢 書初め 寒泳 七草粥 藪入り  
例句

「薄倅の字の美しき賀状かな」 播水

「正月も二十日過けりはをり客」 一茶

「草の戸に住むうれしさよわかなつみ」 久女

投句欄

「凍て雲や負けずに薔薇（そうび）咲きにけり」 M

「爺婆の炬燵蜜柑とお茶支度」 A

「冬天に雲ひとつなく浮かぶ月」 A

## 【当面の行動予定】

3/14 戦争させない！九条こわすな！世田谷連絡会区民集会（午前 11 時～ 区民会館中庭）

4/23 同学習会 講演：半田滋さん 三軒茶屋しゃれなあど 5F 18:30～

## 【編集後記】

☆ 1 月 22 日、核兵器禁止条約発効。歴史的な日となりました。核なき世界への第一歩です。内外の世論を味方に日本政府への参加・批准を求めて行きましょう。

☆ 今号でニュースは 60 号。繰返しで恐縮ですが賛同金（1 口千円）をお願いします。